

医療行動科学〈A3〉

教員名

非常勤講師 桑原 義登（相愛大学名誉教授）

I 一般学習目標

人間の心と行動の関係を臨床心理学の立場から理解し、日常および医療場面における人間関係形成能力を習得する。このことにより、患者との関係や医療機関内でのコミュニケーションを円滑にするとともに地域と連携した医療活動のあり方を理解する。

II 個別学習目標

1. 最近の社会情勢の変化と心の問題の増加との関係について説明する。
2. 人間の心と行動の関係について説明する。
3. 自我構造や防衛機制などの精神分析的な心のしくみについて説明する。
4. 心理テストなどによる臨床心理査定の方法について説明する。
5. カウンセリングなどの臨床心理面接の方法について説明する。
6. 医療現場での患者やコメディカルスタッフとのコミュニケーションの方法を説明する。
7. 人間のライフサイクルにおける発達課題と症状形成を説明する。
8. 地域における関係機関との連携のあり方について説明する。
9. 障害児・者(知的障害・精神障害・身体障害・発達障害)について説明する。
10. いじめの背景・構造対応策について臨床心理学的な支援の方法を説明する。
11. 不登校・非行などの子どもの問題行動を通して事例の理解の方法や対応策を説明する。
12. 虐待の実態・背景・対応策の習得とともに医療機関での役割や地域関係機関との連携のあり方を説明する。

III 教育内容

1. 最近の社会情勢の特徴と心の問題との関係
2. 心理学的基礎知識としての心と行動の関係(動機づけ、知覚・認知、感情、知能、学習)
3. 心の構造と防衛機制
4. ストレスとPTSDについての理解と対応策
5. ライフサイクルにおける発達課題
6. 心理検査などの臨床心理査定と臨床心理面接技法
7. 地域における医療・福祉・教育機関と連携した医療活動のあり方
8. 障害児、いじめ、不登校、DV、虐待、非行などの問題の理解と対応の仕方

IV 学習および教育方法

講義を中心とし、事例検討やグループワーク演習も取り入れる。プリントや映像資料を利用する。

V 評価の方法

出席状況 20%、期末試験 70%、毎回行う小レポート 10%で評価する。

VI 推薦する参考書

テキストは追って指示する。